

1 令和5年度 年度計画の策定にあたって①

～ 患者・地域・都民から頼りにされる病院へ みんなで切り拓く新たな未来 ～

令和4年度 取組

行政的医療の提供・都施策への貢献

- 新型コロナウイルス感染症の対応
 厳しい感染状況が続く中、病床を確保し、重症・中等症患者のほか、介護度の高いマンパワーを要する患者等を積極的に受け入れてきた
 都の対応方針に基づき、発熱外来の拡充、高齢者等医療支援型施設の運営等を行った
- 東京都医療的ケア児支援センターの指定を受ける等、都と連携して取り組んだ

地域連携、サービス向上への対応

- 地域医療の充実に資する支援等や、DXによるサービス向上等に取り組んだ

法人化のメリットを活かした制度構築

- 法人化のメリットを活かした人事給与制度、財務制度、契約制度等の構築に取り組んだ。また、病院現場とともに安定的な制度運用を目指して一つひとつの課題に精力的に対応した

安定的な経営基盤の構築

- 診療報酬上の新規施設基準取得など収入の確保等に取り組んだ

都立病院の魅力発信

- 都立病院の魅力を内外に伝えるため、職員向け広報紙の発行や各病院の広報の見直し、強化に取り組んだ

課題

- コロナ感染拡大時に救急医療がひっ迫、コロナ対応とともに救急等の行政的医療等の提供も重要
- 引き続き、都施策との連携が重要
- 患者が地域で安心して療養できるよう、地域連携や在宅療養に関する支援を推進する必要
- 安定的な制度運用の確立に向けた業務遂行体制の強化が必要
- 各病院において院長のトップマネジメントのもと、引き続き、財務内容の改善が必要
- 戦略的広報の取組が重要
- 法人全体の広報対応力の向上が必要

令和5年度の方針

患者・地域

- 一般医療とコロナ対応の両立
- 地域連携の強化

人材

- 人材育成の推進
- 働きやすい職場環境の実現

組織

- 業務改善の推進
- 経営感覚の醸成

伝える つながる

- 魅力発信の強化
- 連携の強化

1 令和5年度 年度計画の策定にあたって②

令和5年度 運営方針

患者・地域

一般医療とコロナ対応の両立

各病院の特性を活かし、行政的医療や高度・専門的医療、地域に必要とされる医療を充実させていきます
一般医療と新型コロナウイルス感染症などの感染症対策を両立させていきます

地域連携の強化

地域で安心して療養できるよう、地域医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に貢献していきます

人材

人材育成の推進

「人への投資」は重要であり、職員一人ひとりを大切にし、きめ細かく育成するとともに、自ら成長しやりがいを持って働ける職場をつくります

働きやすい職場環境の実現

職員同士が思いやりの精神を持ち、職場環境の改善や働き方改革にも取り組み、誰もが働きやすい環境を実現します

組織

業務改善の推進

業務改善に積極的に取り組む組織を目指します
様々な情報を機構全体で共有するなど、学び合う・高め合う組織風土を醸成し、全体の底上げにつなげます

経営感覚の醸成

持続可能な病院運営を実現するため、自ら経営する意識をもち、地域や患者ニーズに基づく効果的な投資や適切な施設基準取得等による収益の確保、共同購入の拡大など新たな取組も通じてコスト縮減に取り組みます

伝える つながる

魅力発信の強化

発信力を強化することで、現場の頑張りや病院・機構の魅力を効果的に伝え、患者に信頼され、人材が集まる病院にしていきます

連携の強化

職員・各病院が相互に連携し、一体感を持ち、組織力を最大限発揮する病院グループを目指します
大学や研究所など外部機関との連携も強化し、医療・人材育成・研究等の充実につなげます

2 令和5年度 年度計画 (概要①)

～ 患者・地域・都民から頼りにされる病院へ みんなで切り拓く新たな未来 ～

第1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

〔1 行政的医療や高度・専門的医療等の安定的かつ継続的な提供〕

がん医療

- **粒子線治療の導入**に関する検討

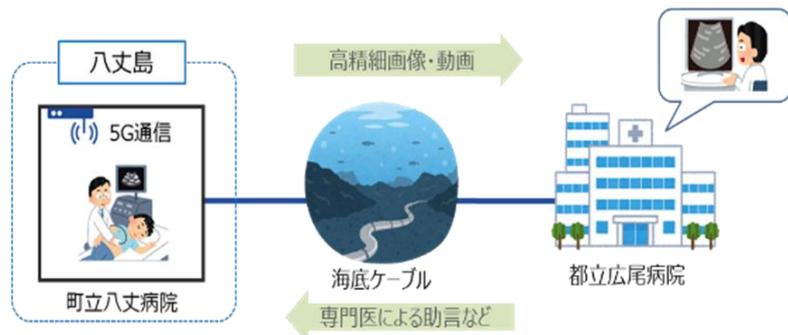


災害医療

- **BCP策定支援** (広尾) 新規
都内の災害拠点病院・同連携病院等を対象に個別具体の支援

島しょ医療

- 患者家族宿泊施設の運営 (広尾・多摩)
- 5G回線を活用した**遠隔医療**の推進 (広尾)



総合診療の提供

- 総合診療医の**効果的な育成プログラム**を検討
- **病院総合診療科**を設置 (広尾)
診療体制を充実、総合診療医の育成の場として活用
- 講演会・ホームページ等で総合診療医の魅力や役割を発信
総合診療医を目指す医師のすそ野拡大につなげる

その他の行政的医療、高度・専門的医療等の提供

- 低侵襲なロボット支援下手術を推進
ロボット支援下手術の評価指標 (件数) について
R5導入病院を追記 (広尾・多摩北・東部・多摩南)



〔2 災害や公衆衛生上の緊急事態への優先した対応〕

感染症医療における緊急事態への対応

- 新型コロナウイルス感染症対応と一般医療の両立

〔3 地域医療の充実への貢献〕

地域包括ケアシステム構築に向けた取組

- **地域との人材交流を推進**する観点から
訪問看護同行支援件数を指標として追加

新規

2 令和5年度 年度計画（概要②）

～ 患者・地域・都民から頼りにされる病院へ みんなで切り拓く新たな未来 ～

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

〔1 効率的・効果的な法人運営体制の推進〕

- **法人本部及び病院が一体となって**、様々な業務改善に取り組む体制を整備



〔2 人材の確保・育成〕

- 法人で働くことの誇り、**職員としての一体感の醸成**を目指し職員満足度調査※を指標として追加 **新規**

※ 「東京都立病院機構の一員として働くことにやりがいを感じていますか。」の質問に対して、「そう思う・ややそう思う」の回答割合

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

〔1 財務内容の改善〕

- 収入の確保
診療報酬制度への的確な対応と未収金発生防止の取組
地域の医療機関との連携強化による紹介、返送・逆紹介の推進等
- 適切な支出の徹底
共同購入の推進（令和4年度の仕組みづくりから、放射線機器の購入等の具体的な取組に着手）

第6 その他業務運営に関する重要事項

〔3 適正な業務運営の確立〕

- 情報セキュリティ・個人情報保護の徹底
ランサムウェア攻撃などの高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対する**セキュリティ対策の推進** **新規**

〔4 都立病院の魅力発信〕

- 都民にわかりやすく効果的な広報活動を推進
- **法人全体の広報対応力の向上** **新規**

〔5 関係機関との連携〕

- **関係機関との連携強化**による医療関連情報の共有や業務の効率化、他団体のノウハウの吸収
(東京都関連施設、大学病院、地方独立行政法人等の医療機関) **新規**

〔6 外部からの意見聴取〕

- **有識者会議**を開催し、各分野の委員の意見を聞きながら法人を運営
- **運営協議会**を開催し、地域の関係者の意見を聞きながら病院を運営



2

令和5年度 年度計画（概要③）

～ 患者・地域・都民から頼りにされる病院へ みんなで切り拓く新たな未来 ～

第7 令和5年度 各病院等重点事業

広尾病院	<ul style="list-style-type: none">・地域医療支援病院の承認・心臓リハビリテーションによる患者の早期回復の推進	荏原病院	<ul style="list-style-type: none">・内視鏡による低侵襲な検査・治療を提供・和痛分娩の提供
大久保病院	<ul style="list-style-type: none">・腎医療における連携強化、移植症例の受入れ・脳・心臓・血管系医療の提供	墨東病院	<ul style="list-style-type: none">・ユニット系病床の有効活用や集中治療体制の強化・低侵襲で質の高いがん医療の提供
大塚病院	<ul style="list-style-type: none">・脳卒中医療提供体制の強化・周産期医療提供体制の強化	多摩総合医療センター	<ul style="list-style-type: none">・多摩地域のがんゲノム医療の推進・多職種連携による手術実施体制の強化
駒込病院	<ul style="list-style-type: none">・低侵襲手術や最先端治療などのがん医療を提供・地域における感染症対応能力の向上	多摩北部医療センター	<ul style="list-style-type: none">・低侵襲手術の推進等、質の高いがん医療を提供・循環器系疾患、脳血管系疾患等の救急患者受入れ
豊島病院	<ul style="list-style-type: none">・救急医療体制の強化・リハビリテーション提供体制の強化	東部地域病院	<ul style="list-style-type: none">・低侵襲手術の推進等、質の高いがん医療を提供・救急医療体制の強化

2 令和5年度 年度計画 (概要④)

～ 患者・地域・都民から頼りにされる病院へ みんなで切り拓く新たな未来 ～

第7 令和5年度 各病院等重点事業

多摩南部 地域病院

- ・手術実施体制の強化（腹腔鏡、ロボット支援手術）
- ・救急医療体制の強化

神経病院

- ・疾患領域別センターによる神経難病医療の強化
- ・難病医療センター（仮称）整備に向けた検討の推進

小児総合 医療センター

- ・小児がん医療の提供体制の強化
- ・多職種・多診療科によるチーム医療を推進

松沢病院

- ・幅広い精神科身体合併症医療を提供
- ・思春期・青年期世代への早期介入・早期支援

がん検診 センター

- ・内視鏡検査体制の強化
- ・低線量CT肺がん検診等、負担の少ない検査の推進

各病院

〔地域医療の充実への貢献に向けた取組を実施〕

- ・専門人材の地域の医療機関への派遣等により地域医療を支える人材の育成を支援
- ・地域の医療機関等との連携を強化し、在宅療養への円滑な移行を支援

令和5年度の主な取組① 〈がん医療の充実と多様な支援〉

- 高度・専門医療の提供によるがん医療の充実のほか、治療と生活の両立やAYA世代への支援など多様な支援を実施

高度・専門医療の提供

◆手術支援ロボット（da Vinci）の活用

- ・リース契約により**新規導入**（広尾、多摩北、東部、多摩南）
- ・術者資格取得や対象診療科拡大を推進（駒込）
- ・**胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術**の施設基準を取得（墨東）



◆その他の高度・専門医療

- ・**IMRT（強度変調放射線治療装置）**について、脳・体幹部の定位照射の適応拡大（多摩）
- ・駒込に続く**CAR-T療法**の新規導入（多摩・小児）
- ・**がんゲノム医療連携病院**としてがんゲノム外来を開始（墨東）

治療と生活の両立支援

◆患者・家族のQOLを高める外来機能の強化等

- ・常勤の緩和医療専門医を確保し、**緩和ケア外来を開設**（小児）
- ・診断時のがんに関連した認定看護師の同席や緩和ケアチームとの連携強化による**外来患者対応の強化**（多摩南）
- ・**アドバンス・ケア・プランニング（ACP）**に関する症例検討会及び勉強会の開催（東部）

◆症状に応じた質の高い薬物療法の提供

- ・化学療法センターの拡張（多摩）

AYA世代への支援

◆AYA世代への対応強化

- ・AYA相談支援マニュアル作成、外来における小児がん長期フォローアップの推進、AYAルームの活用（小児）
- ・AYA世代支援チームの活動をさらに充実させ、就学や就労に関する支援に対応（多摩）

3

令和5年度の主な取組② 〈救急医療〉

- コロナ対応との両立を図り、脳卒中・心筋梗塞・骨折等、地域に求められる救急医療を適切に提供するために、救急の受入れ体制をより一層強化

主な取組

◆ HCUを整備し、重症・重篤な患者に適切な医療を提供（広尾）

- ・重症度の高い患者に対して集中的な治療を行う**HCUを整備**
- ・救急患者の受入体制や術後患者の管理体制を強化

◆ 診療科間の連携を高め、救急の受入れ体制を強化

- ・脳心臓血管センターの設置を進め総合的な医療を提供（大久保）
- ・院内の連携（脳神経内科、脳神経外科等）により、脳卒中の救急患者の受入体制を強化（大塚）

- ・**夜間休日の緊急MRI撮影**により、脳血管疾患について迅速かつ適切な急性期治療を提供（駒込）



◆ 手術室の整備等により、緊急手術にも対応（多摩北）

- ・**手術実施体制を強化**（4室→5室）し、消化器系疾患等患者の積極的な受入れを推進
- ・「消化器病センター」を中心に手術件数を増加
- ・併せて、消防署訪問へ取り組み、**顔の見える関係を構築**



◆ 医師の採用等により救急患者の受入れ体制を強化

- ・プライマリーケアに携わる医師を増員し、**急性増悪等の在宅療養患者**や**合併症リスクの高い高齢者**の更なる受入体制を強化（東部）
- ・循環器内科の医師を増員し、救急搬送患者の**応需率を向上**（豊島）
- ・**救急救命士**の活用
（墨東：救急救命士を新たに救命救急センターに配置）
（荏原、東部：継続的に確保し救急患者の受入れ推進）

3 令和5年度の主な取組③ 〈周産期医療・小児医療〉

- コロナ陽性妊婦の受入れも含めた、周産期医療の充実を図るとともに、高度・専門的な小児医療の提供など、都立病院に求められる周産期・小児医療を着実に提供

周産期医療

◆コロナ陽性妊婦の受入れ

- ・ 令和4年度では各病院において、以下の患者数を受入れ引き続き、コロナ陽性妊婦の受入れと分娩を実施

【令和4年度実績（R4.4.1～R5.1.31）（速報値）】

病院名	新規入院患者数	病院名	新規入院患者数
広尾	27人	豊島	47人
大塚	133人	墨東	38人
荏原	44人	多摩総	104人

※疑い患者含む

◆MF-ICUの増床（大塚）

- ・ 3床増床し、ハイリスク妊産婦等の受入れ体制を一層強化

◆出産に関する患者ニーズへの対応（荏原）

- ・ 陣痛室・分娩室・回復室が一体となった**LDR室を整備**
- ・ **和痛分娩の提供**も開始し、出産方法の選択肢を増やす

小児医療

◆小児がん医療の提供体制を強化（小児）

- ・ **CAR-T療法**の導入により、難治性の白血病患者に高度な医療を提供

◆「呼吸器・循環器センター」を設置し、重症・重篤な患者を積極的に受入れ（小児）

- ・ 外科、循環器科、心臓血管外科、新生児科等による**チーム医療を推進**し、高度な手術を提供

◆AYA世代患者への対応（小児）

- ・ AYAルームの活用や多様な相談の支援

◆医療的ケア児者の受入れ等

- ・ レスパイト入院に積極的に対応（広尾、多摩北、東部、多摩南、小児）
- ・ 「医療的ケア児支援センター」事業の受託（区部:大塚、多摩:小児）

令和5年度の主な取組④ 〈精神疾患・難病・障害者医療〉

○法令や歴史的経過等を踏まえ対応が求められる精神疾患医療や、難病・障害者医療など、一般医療機関では対応が難しい医療を適切に提供

精神疾患医療

◆精神科救急、精神科身体合併症医療

- ・東京都精神科夜間休日救急診療事業への参画による、法令に基づく緊急措置入院等への対応（豊島、墨東、多摩、松沢）
- ・東京都精神科身体合併症医療事業への参画による、精神科と**他科、他病院と連携**した治療提供（広尾、豊島、荏原、墨東、多摩、松沢）

◆思春期・青年期世代への早期介入・支援

- ・精神疾患の好発年齢となる思春期・青年期世代に対し、看護師・精神保健福祉士等の多職種チームによる**早期介入・支援（治療、就学就労支援、家族支援、心理サポート等）**を実施（松沢）

◆精神疾患患者の地域移行促進

- ・医師・看護師・精神保健福祉士等により構成される**多職種チーム「リカバリー松沢」**による、長期入院患者の退院、地域生活への移行促進（松沢）

難病・障害者医療

◆難病・障害者医療への対応

- ・脳・神経系難病やリウマチ・膠原病系難病、特定内臓系難病等に対する、高度で専門的な難病医療の提供（大塚、駒込、墨東、多摩、神経）
- ・専門外来看護師の配置により、「ALS/MNDセンター」「パーキンソン病・運動障害疾患センター」「てんかん総合治療センター」の機能を強化し、**外来診療から入院治療、在宅療養支援、終末期ケアに至るまで**一貫した診療体制を構築（神経）
- ・在宅療養障害児者の急性増悪時の受入とともに、地域の医療機関と連携し、レスパイトに対応
- ・一般歯科医療機関では対応が困難な**障害者歯科医療の提供**（広尾、大塚、豊島、荏原、墨東、多摩、多摩北、小児、松沢）



令和5年度の主な取組⑤ 〈その他の医療、総合診療医の育成、運営協議会の開催〉

- 災害医療や島しょ医療、新型コロナウイルス感染症対応などに継続して対応するとともに、総合診療医の育成や運営協議会の開催等を通じて地域医療に一層貢献

その他の医療

◆ 島しょ医療

- ・屋上ヘリポートの24時間運用による島しょ地域の救急患者の着実な受入（広尾）
- ・患者や付き添いの家族等が利用できる患者家族宿泊施設の運営（広尾・多摩）
- ・島しょ医療機関への医師派遣等による診療応援（広尾）



◆ 緊急時対応等

- ・広尾病院における減災対策の取組等を法人内で共有
- ・都内の災害拠点病院および同連携病院等を対象に、BCP策定について個別具体的な支援を実施（広尾）
- ・新型コロナウイルス感染症への対応は、都の方針の下で関係機関と連携し、積極的な患者受入など求められる役割に対応

総合診療医の育成

◆ 「東京モデルの総合診療医」の育成

- ・海外の知見も活用し、都独自の育成プログラムを作成
- ・外部から指導医を招聘し、モデル病院（広尾）に病院総合診療科（仮称）を設置
- ・講演会やホームページ等で総合診療医の役割や魅力を発信

◆ 東京医師アカデミーの取組

- ・総合診療科専門研修プログラムによる育成（広尾、多摩）

運営協議会の開催

◆ 全病院で運営協議会を開催し、内容を病院運営に反映

（これまでの意見・要望例）

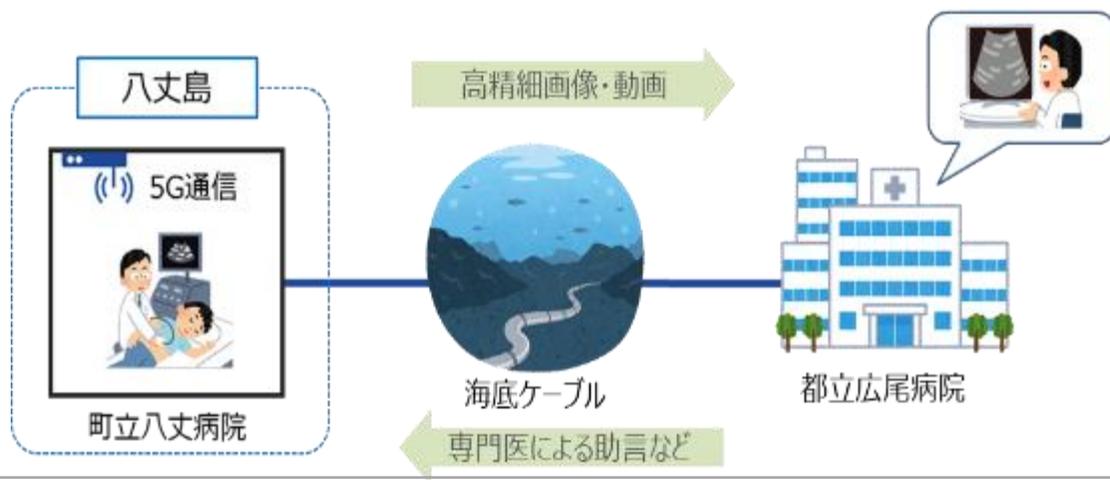
- ✓ 新型コロナで非常に大事な取組をされている。是非圏域内で周知していただき、行政側でも情報をキャッチしたい（多摩北）
⇒ 連携医ニュースに新型コロナの取組を掲載し、地域医療機関だけでなく行政にも情報共有を実施
- ✓ 感染対策向上加算に関する勉強会等は、医師会と共催で開催し、地域も参加できる形で対応してほしい。（多摩南）
⇒ 勉強会等は医師会と共催で開催し、地域の医療機関に参加していただく形で対応済

3 令和5年度の主な取組⑥ 〈DXの活用〉

島しょ遠隔医療への5G活用

◆事業の概要

- ・ 広尾病院では、島しょの医療機関から送信されるCTなどの**静止画をもとに専門医が助言**を行い、島しょにおける診療を支援
- ・ 新たに八丈病院に整備される**5G通信を活用**し、八丈病院の医師が撮影した**エコー動画等をリアルタイム**で広尾病院の専門医と共有し、広尾病院の医師が八丈病院の医師に助言が可能に。**島しょ医療の更なる充実**につなげていく。



(これまでの取組)

- ・ 画像が実際に診療に耐えうるか、離れた場所の送受信でも画質に影響が出ないかを検証
 - ・ R2年度
広尾病院及び四谷の5G基地局で実施
 - ・ R3年度
広尾病院及び八丈島の5G基地局付近の体育館で実施
- ⇒ R2年度及びR3年度とも、実際に画像を見た医師からは、診療支援にも利用可能であろうとの見解

◆R4年度の取組

- ・ 八丈病院に設置される5G基地局を通じ、八丈病院で実際に撮影した患者のエコー動画をリアルタイムで広尾病院の専門医と共有し、助言を行う。
- ・ 町立八丈病院及び都立広尾病院と検討を進めた結果を踏まえ、年度内に運用を開始する予定。

◆R5年度の取組

- ・ 5G通信を活用した診療支援に取り組みつつ、適宜、八丈病院及び広尾病院と意見交換を行いながら、運用上、生じる課題について整理・分析して改善につなげていく。
- ・ 5G通信による診療支援の更なる充実に向けて、実際の運用状況を踏まえつつ、体制面での実現性も考慮しながら福祉保健局と調整のうえ、検討を進めていく。

3 令和5年度の主な取組⑦ 〈地域連携の強化〉

○地域の医療機関等との連携推進、地域医療を支えるモデルとなる取組などにより、地域ニーズに応じた地域医療の充実に貢献し、地域包括ケアシステムの構築を支援

患者・地域サポートセンターを設置

地域医療連携の推進に向け、都立全14病院に「患者・地域サポートセンター」を設置済

センターのコンセプト

- ✓ 患者・家族の様々な相談にワンストップで対応
- ✓ 在宅移行や在宅療養を支援する取組強化

センターの3つの機能

患者支援

- ・看護相談（訪問看護案内、在宅ケア、介護用品案内等）
- ・医療福祉相談（各種制度案内、医療費、退院後の生活等）
- ・専門員相談（法律相談、治療と仕事の両立等）
- ・地域関係機関との協働、情報共有、連携等

入退院支援

- ・入院サポート（入院準備、検査・手術の説明等）
- ・転退院支援（病院、在宅サービス、施設との調整）
- ・服薬指導、栄養指導、口腔指導等

地域連携・在宅療養に関する支援

- ・在宅療養に向けた支援（退院前後の訪問）
- ・地域医療機関への紹介、逆紹介
- ・地域の医療人材育成（研修、連絡会等の開催）



がん相談スペース



入院サポートの様子

都立病院で実施している特徴のある取組（抜粋）

患者支援

- ・病院が施設に出向き、**嚥下リハの実施**や**アドバンス・ケア・プランニングの作成**を支援（多摩北）
- ・予約なしで相談できる認定看護師の相談コーナーを設置（松沢）
- ・在宅人工呼吸器の患者へ非常用電源を貸与（神経）

入退院支援

- ・地域医療機関等との**オンライン退院前カンファレンス**の実施（複数）
- ・地域医療機関へ医師派遣の一方、長期入院患者の受入を依頼（松沢）
- ・**東京総合医療ネットワークへの参画**や**医療介護専用SNSの活用**など、円滑な入退院に向けたICTツールの活用（複数）

地域連携・在宅療養に関する支援

- ・病院間での機能補完や人材交流等を目的とした**アライアンス連携の締結**（荏原・豊島・多摩北）
- ・連携医からの搬送依頼、通院中患者の急性増悪、回復後患者の転院搬送などに**病院救急車を活用**（豊島、荏原、多摩南）
- ・島しょ住民向けセミナー、医療・介護従事者向け研修会（広尾）



病院救急車（多摩南）

令和5年度の取組

- 各病院の役割や機能、地域ニーズ等に応じた各種支援の強化
- 独法化のメリットを活かした多様な主体との連携体制の構築
- 患者支援、入退院支援、地域連携・在宅療養に関する支援に対する他医療機関への調査結果に基づく、新たな取組やアイデアの活用
- 業務の効率化に向けたタスクシフトやICTの更なる活用